



山田こうじです！

2020年5月3日

NO.235

事務所：西院上花田町36-3

電話：222-3728

攜帶：090-3970-4701

山田こうじ共産党検索

異例の4月市会 コロナ感染症対策補正予算可決



新型コロナウイルス感染症の終息のめどが立たない中、召集された4月市会は「3蜜」を避けて異例の議会となりました。

審議期間は当初予定していた7日間から短縮して1日となり、2020年度補正予算、国民健康保険条例一部改正など議案5件が提案され、即決で可決しました。

本会議場もレイアウトを変更し、本会議成立要件の過半数の議員のみ出席。表決以外の議事において、退出を認め、別室でモニター視聴する対応となりました。

三次に渡り申し入れ

4月7日、予算案提案に先立ち第3次申し入れを行い、相談、受診、検

査体制の強化、今年度予算及び事業の総点検と、コロナウィルス感染症対策の抜本的強化を行う大幅補正を求めました。

審議時間が確保されない中、党議員団は局別に聞き取りを行い、議案説明時に文書で要望を提出しました。

国民世論の力で、一人10万円の特別給付金が決定しました。市長から提出された補正予算には医療検査体制の拡充や国民健康保険の被用者への傷病手当金の創設等、要

望が一定反映されました
中小企業等緊急支援補助金について、予算規模5億円を10億円に倍増し、融資要件を外すことを求め実現しました。

市会決議では、京都市会として「議員報酬及び下記手当削減による1億円の捻出をここに決定し市民や中小企業等一層支援する」ことを表明しました。

市民生活、京都経済の
実態は一層深刻となつて
います。提案されている
一人10万円の給付は当

面の緊急対策と
いふべきもので、
さらなる補償を
行うべきです。

中小企業等緊急支援補助金10億円も売り上げが50%以上減少している事業者に限られ、新たに実施する事業に限られて

第

います。

家賃などの固定費も対象にした制度にし、予算の大幅増額が必要です。

検査体制の強化と
医療現場への支援を

「どこで感染したかわからないという市中感染が止まらない。入院にたどりつけず亡くなる方が出てきている。医療崩壊が始まっている。PCR

検査の体制を強化し、大規模な検査ができる手立てを国が責任をもって行わなければいけない」と、日本共産党田村ともこ参議院銀が提起しました。

市会議員団には「発熱が続いているが、PCR検査をしてももらえない」と、不安な声が寄せられます。

第180回 暮らしのなんでも相談会

暮らしにかかわるどんなことでも…

金融・債務の整理・相続・税金・労働・医療・健康保険料の支払い・地域要望等、どんなことでも結構です。

5月9日（土）午後1時半～3時

会場 安井後援会事務所（安井小学校前）

主催 日本共産党市会議員 山田こうじ事務所

佐々木 義人 801-9379

京都新聞 (4/27)

記事には、「中国や韓国などアジア各国は：積極的なウィルス検査が功を奏した形で感染終息を見据え」ていると報じています。韓国では検査と比例する形で感染者数が激増したが、抑え込みにつなげています。

国の医療に係る補正予算緊急交付金は1490億円、都道府県に2分の1の財政負担を求めています。あまりにも規模が

小さすぎます。世界では「コロナとの戦争だ」という声が上がっています。ならば、5兆円の軍事費をコロナ対策へ回すべき。

まいどなおきに

三田川にすず！

229

緊急事態宣言対象地域が全国に拡大され、京都府も「特定警戒都道府県」に。飲食店や居酒屋さんから不安の電話が寄せられます。「店を閉めれば売り上げはゼロ。家賃や固定費は必要。保証なしには店は閉めれないが、こんな時に営業して

よいのか」と苦悩する声が。「うちが閉めれば、困る常連さんもあり閉めるに閉めれない」との声もあります。

国の「持続化給付金」も、京都市の「助成金」も売り上げ半減が条件です。たとえ1割の減少でも零細業者にとっては深刻です。

シドニーにいる娘からは、何も手続きなしに週750ドル振り込まれた話は書きましたが、今度は家賃が下がったそうです。事業用の店舗ではありません。普通の住宅で、所得が減少しているわけでもありません。固定資産税が免除になり家賃減額されたそうです。

コロナで苦しんでいるのは全ての国民です。「真に支援が必要な方を支援」等と、非常時に国民分断は、世界の中では非常識です。